

## 次号予告

### 特集 地理情報視覚化—カルトグラムの最前線—

- 三角網分割を用いた連続エリアカルトグラムの作成手法 ……井上 亮, 清水英範 (東京大学)  
地点間の方位角拘束を用いた時間地図作成問題の汎用解法 ……清水英範, 井上 亮 (東京大学)  
時間距離行列及び OD 行列の視覚化 ……榎谷有三 (専修大学北海道短期大学)  
デフォルメ地図の自動生成手法とその適用システム ……山守一徳 (三重大学)  
都市間非対称流動データの視覚化 ……大保和子, 善家大輔, 山本芳嗣 (筑波大学)  
大学入学人口移動空間の視覚化 ……古藤 浩 (東北芸術工科大学)

### 編集後記

●最近では各企業の情報統制が大変厳しくなり、以前ほど簡単には情報発信していただけなくなりました。しかし今号では無理なお願いを聞いていただき、OR 問題の宝庫とも言える鉄鋼業に関する特集を組ませていただくことができました。

●15年以上前の話になりますが、就職活動の中で経営関連リサーチャーの話を聴く機会がありました。その概要は「一般に企業寿命30年と言われ衰退が激しい中で、鉄鋼メーカーはコンスタントにトップテンに入っている」というものでした。彼の示したある指標に基づく10年単位、計40~50年分のランキングを見れば、確かにどの年代においても鉄鋼メーカーだけが唯一、すべての年代でトップテンに顔を出していたのです。

●その理由は、“技術開発”、“海外展開”、“事業多角化”などの戦略で、押し寄せる数々の経営課題を乗り越えてきたから、という解説でした。その特性上、素材産業はその他の産業より景気変動の影響を大きく受けて浮き沈みが激しくなりますが、そのような環境下でも生き残る術を身につけている、というメッセージとして受け止めた記憶が、今なお強く心に残っています。

●平成大不況を経て、バブル期以来の鉄鋼業の隆盛を、今また目の当たりにしております。今回の復活劇の裏に寄稿いただいたような各種 OR 手法の適用が隠されているとすれば、元鉄鋼メーカーの OR ワーカーとしては、ちょっと複雑、しかしどこか非常に感慨深いものを感じるのです…。(田村亮二)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大澤義明(筑波大学), 大村弘之(日本電信電話株), 岡田 勇(創価大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム株), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス株), 高橋彰子(株)NTT データ, 田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ株), 土屋利明(日本電信電話株), 所 健一(財電力中央研究所), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(独日本スポーツ振興センター), 藤本 衡(東京電機大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(株)東芝

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成 18 年 3 月号 第 51 卷 第 3 号 通巻 543 号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032  
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森 真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ